

ふれあいキャンパス

多様な他者とのふれあい

11月2日（木）、連携型中高一貫教育生徒交流事業「ふれあいキャンパス」が開催されました。

ふれあいキャンパスは、連携校生徒（小瀬高・明峰中）の交流が最大の目的です。明峰中と小瀬高の生徒は、百人一首やペーパークラフト等の11講座に分かれ、様々な活動に取り組みながら互いに交流を深めました。普段の学校生活ではなかなか交流することがない「多様な他者」とコミュニケーションを取ることで、自分の世界を広げることができたのではないのでしょうか。

参加した生徒からは、「小瀬高の先輩とコミュニケーションを取りながら活動することができた」「中学生と一緒にチームを組んでバレーボールをしたのがとても楽しかった」「交流の難しさを感じた。お互いの気持ちがそろわないと上手くいかないの、いろんなことを考えながら活動することができた。」等の感想が寄せられました。



連携型中高一貫教育

スポット的授業で「新たな発見」！

国語科において、中学3年生を対象に授業を行いました。授業を担当した北條先生は、「なんで古典を学んだらう？昔の歌人たちの想いをくみ取り、寄り添いながら百人一首の世界を味わおう」というねらいで、言葉の微妙な感じ方の違いについて考えました。高校生によるショートコントを参考にしながらオリジナル現代語訳を考える中で、自分が考えていることを可視化しながら話し合いを進めました。

普段何気なく使っている言葉について問い直してみることで、「新たな発見」があるはずです。「温故知新」昔の人の想いを想像し、今の生き方を考える…とても気になりました。

